

夏の水辺を楽しむために！

夏は、海水浴や川遊びなどのレジャーを楽しむ季節です！

しかし、例年、この時期には多くの水難事故が発生しています。昨年夏（7月、8月）、県内では14人の方が水難事故に遭い、4人の方が亡くなっています。このうち、海での事故は10人、河川では4人で、行動別としては「水泳」中が3人、「魚とり・釣り」中が2人などでした。また、子ども（高校生以下）の事故が5人となっています。

●水難事故を防止し、楽しい夏を過ごすために次の点に注意してください。

ライフジャケットの着用

釣りやボート等で水辺に行く際は、万が一に備え、必ずライフジャケットを着用し、また、複数人で行くように心掛けてください。

常に天候や波の状況などを確認する

悪天候時には、水の流れが速くなったり、急激な増水、高波の発生、水深が深くなるなど、水難事故に遭う危険性が高くなります。増水した河川や用水路等に近づいたり、水辺でのレジャーは避けてください。

保護者の方は、子どもから絶対に目を離さない

子どもだけの水泳や水遊びは、急に深みにはまって溺れるなどして危険です。幼児や泳げない子ども等には必ずライフジャケットを着けさせて、保護する責任のある者が付き添うなど、目を離さないようにしてください。

飲酒状態で魚釣り等はしない

お酒を飲んだ状態での魚釣りや水遊びは、水（海）中に転落したり、溺れたりする可能性がありますので、絶対にやめましょう。

■問合せ 枕崎警察署地域課 TEL72-0110

今月の担当は 家康 隊員です！

こんにちは！地域おこし協力隊の家康です。
今月は7月12日、東京で開催された「鹿児島県移住相談会」についてご報告いたします。

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が行く！

移住相談会 in 東京
首都圏在住の移住希望者を対象に開催した鹿児島県移住相談会では、先輩移住者のクロストークおよび各自自治体との交流会として鹿児島らしく賑やかで楽しいイベントとなりました。総勢26名の移住希望者のうち、男女の割合は男性64％・女性36％、年齢層の割合は20代が20％、30代および40代がそれぞれ10％、50代が44％、60代が16％と、シニア層（50代以上）の関心の高さが伺えました。また、移住希望者のうち、約35％の方が夫婦または2人世帯、40％の方が1年以内に移住を予定しているとのことでしたが、約60％の方が鹿児島県と縁もゆかりもないと答えています。移住地に関しても、都市部と田舎を自由に引き来できる地域や自然を身近に感じられるところで、「のんびりとした生活をしながら温泉も楽しみたい」「地域の人が結びつくようなカフェまたは農業体験ができる民宿を経営したい」など、移住地での新しい生活を求めているという意見がありました。移住地について関心が高かったのは、移住支援や子育て支援制度、生活インフラ、地域住民とのコミュニケーションなどでした。統計資料によると人気移住地域のランキング中、鹿児島県はシニア層の移住人気地域2位になっていますが、シニア層

を優遇する地域の順位では鹿児島県はランキング外のようなです。一般的に中長期の移住希望地は自然が豊かで温暖で、医療機関が充実し、生活コストが低くアクセスの良いところが好まれるので、枕崎市の積極的な移住対策が実現すれば人気ランキング上位の移住希望地域になる可能性もあるのではないのでしょうか。
空き家
移住者にとっては空き家の現状と物件の状況がとても大事です。2023年の調査によると、全国の空き家数は約900万戸で空き家率は13・8％、賃貸や売却用、別荘などを除いた利用目的のない「その他空き家」も増えており、総住宅数に占める割合も過去最高となっています。理由としては少子高齢化、人口減少、地方から都市部への人口移動などさまざまな要因がありますが、空き家の増加は地域の景観や治安の悪化、倒壊による危険などの問題を引き起こす可能性があります。本市の空き家も増加傾向にありますが、空き家バンクの活用や空き家バンクに登録する際の家財撤去費用の補助など、空き家対策に取り組んでいます。空き家を活用した移住支援を頑張っていますので、ぜひ本市への移住・定住の応援をよろしくお願ひします。



市長

コラム

vol. 76



いつまでも戦後であり続けるために。（戦後80年）

今年は戦後80年、1945年の先の大戦の終戦から80年という歳月が過ぎました。先の大戦では、戦争末期の1945（昭和20）年7月29日に枕崎は市街地のほとんどを焼失する米軍の爆撃を受けました。その後、8月6日には広島、8月9日には長崎に原爆が投下され、8月15日に大日本帝国はポツダム宣言を受諾して終戦の日を迎えました。それから80年、わが国は戦争の焼跡から復興し、現在の日本が形作られました。80年の歴史を振り返ることは大切です。終戦間もない米軍進駐軍による占領の時代を経て、1951年にサンフランシスコ講和条約に調印し独立国家として歩みはじめます。1964年の東京オリンピック、1970年の大阪万博など高度経済成長の時代を迎え、ジャパン・アズ・ナンバワンと持ち上げられ、バブル経済からバブル崩壊、その後の失われた30年と言われるデフレ経済の時代。その間には1995年の阪神淡路大震災、2011年の東日本大震災など未曾有の災害に襲われるなど、大きな困難もありました。ロシアのウクライナ侵攻、中東情勢、近隣の中国や北朝鮮の動きなど、このところの国際情勢の中で日本を取り巻く地政学的リスクも高まっています。時代も昭和、平成と流れ、そして現在の令和の日本があり、枕崎があります。昨年の秋の総選挙、先の参議院選挙を経て、今現在のわが国の状況は、先行きの不透明感が増していることは否めません。現在の国の状況を冷静に受け止めることは重要なことですが、一方で、戦後80年を迎えたこの8月に過去のわが国が辿ってきた歴史、特に先の大戦に至るまでのわが国の動きを振り返ることも重要ではないかと思っています。「平和の実現こそが、人類にとってもっとも重要な事柄である」ということはこのコラムでも何回か書きました。そして、8月という月は平和に思いを馳せるには、いい季節だと思っています。平和について考えてみましょう。わたしたちが、戦後をずっと続けていくために。

第4回枕崎国際芸術賞展開催中！

平成28年度から3年に一回開催してきている現代アートの国際コンクール「枕崎国際芸術賞展」の第4回展を南浜館で開催しています。

国内外から応募のあった834点の作品の中から選ばれた入賞・入選作品81点を展示しています。ぜひご観覧ください。

●会期 9月15日（月・祝）まで ※会期中無休
●観覧料 一般1,000円、高校・大学生800円
※中学生以下無料

【会期中のイベント】
■アート講評セッション
ー藝大の高島依子先生と語る、深める、作品講評会ー
●期日 8月17日（日）
●時間 午後2時～4時（予定）
●講師 高島依子氏
（画家、東京藝術大学准教授、本展審査員）
●対象 県内の美術科、美術部に所属する高校生
●定員 25名
●参加料 無料

■枕崎アート散策（参加者募集） 国芸展&枕崎の食&青空美術館

●期日 8月31日（日）
●時間 午前10時～午後3時（予定）
●申込み 1週間前までに南浜館にお申込みください。
●集合 南浜館（発着）※マイクロバスで移動します。
●行程
①南浜館 午前10時
第4回枕崎国際芸術賞展ギャラリートーク
②枕崎お魚センター 正午
「カツオ3種丼（酢飯）」＋「削りたて鰹節食べ放題」 ※枕崎の食文化をお楽しみいただけるスペシャルなメニューです。
③枕崎「青空美術館」鑑賞会 午後2時
駅前通りなどのアートを散策
④南浜館到着 午後3時
●参加料 3,000円（食事代、観覧料、保険料込み）



スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998